



受付第 03A2045号
受付日：平成15年10月17日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成15年12月26日

財団法人 建築試験センター
中央試験所長 勝 野 幸
埼玉県草加市稻荷 20号



| | |
|----------------------|---|
| 試験名称 | 木造建築用接合金物の引張試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | 1. 接合金物 名称：木造建築用登り梁端仕口金物 商品名：MN-3065 用途：登り梁-桁仕口に使用される金物 寸法：厚さ4.5mmの鋼板を加工したもの 80×75×45mm (図-3参照) 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 2. 接合具 登り梁側：木ねじTB-65, 4-φ5.5×65mm(ねじ部の長さ53mm) 谷の径；3.2mm, ねじ山のピッチ；3.2mm, ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH 22K (JIS G 3539), 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 桁側：六角ボルト・ナット：M12×140mm, 材質；SWRM 10 (JIS G 3505) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 角座金：2-40×40mm, 厚さ4.5mm, 材質；SPHC, 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 3. 使用軸組 登り梁：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm, 含水率；9.7~13.7%, 密度；0.39~0.43g/cm ³ 桁：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm, 含水率；9.1~11.2%, 密度；0.40~0.43g/cm ³ 4. 試験体数 7体(うち1体は予備試験体) 参照：図-1~図-4(試験体の形状・寸法) |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター)の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2.「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法, 評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。 |
| 試験結果 | 短期基準接合引張耐力(P _{ot})：9.3kN 耐力算定基礎資料：表-2 ただし, 登り梁と桁は屋根勾配を考慮して 荷重-変位曲線：図-5及び図-6 接合した(6寸勾配)。 破壊状況：写真-1~写真-6 |
| 試験期間 | 平成15年11月 5日 ~ 7日 |
| 担当者 | 構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 室 星 啓 和 |
| 試験場所 | 中央試験所 |